

ただとも通信 No.67

午年の飛躍へ—— ともに未来を切りひらく新しい年に

あけましておめでとうございます。昨年、皆さまの温かいご支援に支えられ、参議院議員大分選挙区で再び国政に送り出していただきました。心より感謝申し上げます。地元大分のみなさまの声を国政に届ける、その使命をあらためて深く胸に刻む新年です。

昨年の選挙では、若い世代や現役世代の投票行動が大きく動き、10～40代の投票率が顕著に伸びました。若者から働く世代、子育て家庭、そして中小企業や失業中の方々まで、一人ひとりが「自分は大切にされている」と実感できる社会の実現が、いま求められていると痛感しています。



現在の政権は「強い経済」「積極財政」を掲げていますが、物価高に苦しむ暮らしの底上げや実質賃金の改善、安心して働ける環境づくりについては、まだ不十分な点が多くあります。防衛費増額の負担増が所得税増税として私たちに跳ね返ってくることも予想される中、私は、少数与党の状況を踏まえつつ、国会でしっかり議論を積み重ね、政策の転換を力強く求めてまいります。

本年は午（うま）年です。古来より午は「勢いよく前へ進む」「幸運を運ぶ」とされ、飛躍や躍動を象徴すると言われていています。大分の皆さまの暮らしが力強く前へ進み、希望が広がる一年となるよう、全力で働いてまいります。

そのためにも、まずは働く人の賃金が物価を上回って上昇する経済の実現、安心して続けられる働き方への改革、地域を支える中小企業・医療・福祉・公共交通の再生、そして真の地方自治の確立に向け、取り組みを一層強めます。若者や女性、非正規で働く方々の声にも丁寧に耳を傾け、「誰も取り残されない政治」をめざして歩み続けます。

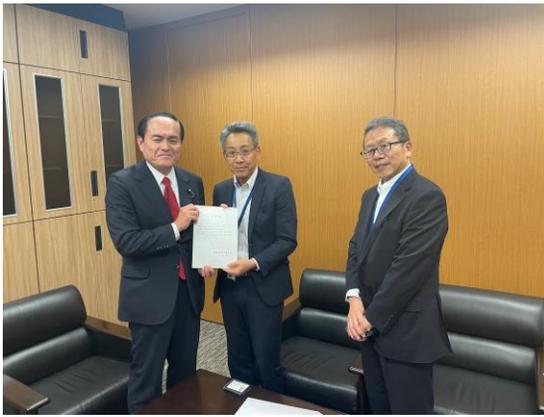
また、日本国憲法の平和主義を守り、子どもたちが安心して未来を描ける安全な地域社会をつくることも、私の大切な使命です。国内外の不安定な情勢が続くなかだからこそ、平和を大切にする政治の役割は一段と重くなっています。

政治は、みなさん一人ひとりの参加で必ず変えることができます。昨年、若い世代の投票行動が選挙結果を動かしたように、声をあげれば社会は前に進みます。どうか今年も、共に歩み、共に未来をつくっていきましょう。

本年が、皆さまとご家族にとりまして、幸運が駆け込むすばらしい一年となりますことを心より祈念申し上げます。



第219回国会(臨時国会)報告～大分の現場の声を国政に～



10月21日に開会した第219回国会（臨時国会）では、地元・大分と国政を結ぶ活動に全力で取り組みました。

10月は、東九州自動車道4車線化に向け別府市長らから要請を受け、港づくり全国大会で津久見市長・大分市副市長と意見交換しました。運輸労連大分県連合会、連合大分定期大会、別府での全国棚田サミットでもご挨拶し、働く皆さんと地域農業を支える決意を新たにしました。由布市議選では、長年の同志2人の当選をお祝いしました。

11月前半は、大分のインフラ・防災に関する要請が相次ぎました。佐伯市議会から東九州道4車線化や補聴器助成などの要望を受け、安全・安心の道づくり全国大会、九州地方国道整備促進総決起大会では、大分から参加された皆さんとともに道路ネットワーク強化を訴えました。中九州横断道路、東九州道、中津日田道路、中津港のみなさまからも、災害に強く地域経済を支える「命の道」「産業の道」の整備促進を強く要望いただきました。宇佐市駅館川地区の農業基盤整備、大分市からの中九州横断道路・公共下水道・社会福祉施設整備など16件の要望、津久見市の「みなとオアシス津久見」とまちなか再生、さらに臼杵城址や岡城跡、宇佐神宮など史跡・文化財の保存強化など、多くの自治体から大分の未来づくりに関わる切実な声を伺いました。国土交通委員として「事前防災こそ最大の危機管理」を合言葉に、治水・道路・港湾・農業・文化財を一体で支える施策づくりを進めます。大分国際車いすマラソンへの来賓出席、御手洗朋宏県議後援会総会、くすこのえ産直ネットとの意見交換では、スポーツを通じた共生社会づくりや、玖珠・九重の農業と物流の課題など、地域の力強い取り組みに学びました。

11月18日以降は、大分市佐賀関の大規模火災への対応が最大の課題となりました。発災直後から現地状況の把握に努め、国土交通委員会での質疑、消防庁・内閣府ヒアリング、現地視察、防災担当大臣への緊急要請、党内合同会議などを通じて、激甚災害指定、住まいの確保、罹災証明の迅速な発行、がれき処理、人員応援、被災中小企業・漁業者支援などを政府に強く求めています。同時に、憲法審査会での意見表明、国家公務員給与法やバス政策、ヘルスケア産業の価格制度、人道外交（ガザの医療支援）、ガソリン暫定税率廃止法案、決算審査での財政規律・防衛費・政治とカネの問題など、国政全体の課題にも正面から取り組んでいます。



これからも、大分の現場の声を出発点に、国の制度・予算を動かし、「大分に生まれ育ってよかった」と思える地域づくりと、日本の持続可能な未来のため、引き続き全力で働いてまいります。



所属委員会

- ・憲法審査会（野党筆頭幹事）
- ・国土交通委員会
- ・決算委員会

みなさまの
声を
届けます！